

**せまい！  
あぶない！**



**佐倉市・酒々井の通学路**

現地調査をしました！



昨年6月、八街市で起きた下校中の児童死傷交通事故。決してひとつではありません。

市民の皆さまから情報を集め、佐倉と酒々井の危険な通学路33か所を調査・点検しました。現地に足を運び、県警や佐倉市などに聞き取り調査を行い、改善策を提案・要望しています。

主な箇所をピックアップしてご報告します。

**大型車進入禁止が守られていない！**

県道64号線は臼井小の通学路。歩道が非常に狭く、歩行困難。児童のすぐ脇を大型車がバンバン通っていく。中宿交差点から船戸大橋までは「大型車両進入禁止」となっており、標識も立っているのに…



大型車両進入禁止の標識。

酒々井上本佐倉交差点



県道64号  
中宿交差点  
～船戸大橋



県道137号  
酒々井小～  
上本佐倉

県道137号線は酒々井小の通学路。大型車進入禁止が守られず、事故多発。保護者と共に●の地点に信号設置を要望し、昨年春実現。現在●の地点に設置を要望中です。

県警に対し 大型車の進入取り締まりを厳しくするよう強く要望。

**車が多いのに歩道が無い！ ①**

【市民からの声】 県道が狭く歩道がない。4歳の子を自転車の後ろに乗せて保育園に通うが、横断歩道もなくスピードを上げて走る車に毎日恐怖を感じている。



南ヶ丘団地が出来て子育て世代が増え、通園・通学路で県道を使う人が増加。

事故多発！ 過去6年間で事故8件、負傷者10人！



県道64号  
生谷・南が  
丘団地付近



▲の地点の横断歩道が消えている。県警に報告し改修できました。



**県警に対し**

南ヶ丘団地から出てきた交差点(●)に信号機と横断歩道の設置を要望。自治会からも要望書を出すよう、住民の方に提言。

**車が多いのに歩道が無い！ ②**

市内有数の危険箇所。地図の赤い矢印の部分は歩道が無く、側溝のふたの上を歩くしかない。道路上に「通学路」と書かれているが、スピードを上げて車が走り非常に危険。



**佐倉市道路建設課に聞き取り**

歩道整備には沿線の家をセットバックし、道路拡幅が必要だが、用地買収を行う予算無し。

怒！ 佐倉市が進める「不要不急」の道路建設計画を見直し、通学路の安全対策にこそ予算を回すべき！ 県警にも要望します。

**296 井野交差点～エコス (市道)**



**第三工業団地近くの通学路**

【市民からの声】

第三工業団地につながる市道(右地図の赤い線)は、南部中の通学路になっている。歩道がなく、速度制限50kmであり、物流の大型トラック等が一日中通っている。第三工業団地の入り口まで約300mを20km制限にするか歩道整備を。



**県警へ聞き取り調査**

現状の速度制限50kmをより厳しくすることは難しいとの回答。対応として、千葉市で実施している「車道に色分けした自転車道の設置」ができないか提案していく。

**千葉県飲酒運転根絶条例**

八街の事故を起こした運転手は飲酒運転をしていました。悲惨な事故を二度と起こさないために、12月県議会で、自民党提出の「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」が全会一致で可決されました。

**評価すべき点**

- ◆ 飲食店などに対して、客が飲酒運転をする恐れがある場合、通報の努力義務を課している。
- ◆ 規定値を超えるアルコールを検知するとエンジンが自動的にかからなくなる機器の活用を促している。

**残念な点**

アルコール依存症への言及が全くないこと。

飲酒運転の常習者の4割近くが、アルコール依存症だということが神奈川県警の調査で出ています。八街市の事故の加害者も、裁判の中で、アルコール依存症であることが判明しました。

依存症は病気であり、医療的なケアが必要となります。飲酒運転を取り締まるだけでは解決できません。常習者に対し、医療機関での診断と治療を義務付け、根本的に治すことが重要です。

佐倉市内22か所の危険箇所を地図や写真入りで掲載した「通学路調査報告集」を発行しました。ご入用の方は、市民ネットワーク千葉県へ。043-201-1051



12月9日、条例案について質疑。アルコール依存症対策を提案。



このQRコードから全頁をご覧いただけます。